



# キャリア・パスポートの活用に向けて

これまでの学び ↔ これからの学び

香川県教育委員会義務教育課

## 「キャリア・パスポート」とは？

- ▶ 児童生徒が自己の学びを振り返り、自身の変容や成長について自己評価できるように工夫されたポートフォリオ（学習記録の蓄積）

## 「キャリア・パスポート」を活用する目的

- ▶ 学びの跡を蓄積し、振り返ることで、主体的に学びに向かう力を育み、自己実現につなぐ（学びのつながりを感じ、将来に向けた自己の成長につなぐ）

児童生徒が「キャリア・パスポート」の取組で、自己の学びや活動を振り返ることで、新たな学習への意欲につなげたり、将来の生き方を考えたりすることができます。

また、小学校～高等学校の「縦のつながり」や学校や家庭、地域社会の「横のつながり」を感じ取りながら、自己の学びを紡いでいくことができます。

## 「キャリア・パスポート」の内容と様式

- ▶ 各学校で育てたい力やこれまでの取組を生かし、キャリア形成につながる内容
- ▶ A4版（両面可）で各学年5枚以内

特に新しい取組を実施するわけではありません。既にある各学校の取組の「宝」を生かし、将来のキャリア形成に向けた内容として、次のような例が考えられます。

- （例）○ 自己の目標、学校生活の振り返り、授業の学習活動について
- 学校行事や校外学習（地域活動）、家庭の取組、部活動について

※ キャリア形成 … 社会の中で自分の役割を果たしながら、自分らしい生き方を実現していく働きかけのこと

## 学習記録の蓄積 → 「キャリア・パスポート」の作成をどのように行うのか？

- ▶ 蓄積した学習記録を「取捨選択」
- ▶ 蓄積した学習記録をもとに「再編集」

これらの構成を工夫し、「キャリア・パスポート」として残していく。

下図を参考に「キャリア・パスポート」を構成します。過去の「キャリア・パスポート」を活用して振り返り、自己の在り方を考える学習活動も考えられます。

### <キャリア・パスポートの構成例>

